

森林パトロール通信

令和元年度 第4号 令和元年7月3日発行

小学生を対象とした森林教室「水の旅」の実施

今年も、小田川土地改良区主催による「水の旅」現地学習の協力要請により、五所川原市小田川ダム周辺にて地域の小学生を対象に森林教室を行いました。

6月18日(火)に五所川原市立金木小学校の4年生32名、6月21日(金)に五所川原市立いずみ小学校の4年生28人を対象に「田んぼの水はどこから来てどこへ？」をテーマとし、小田川水系の農業用施設・用水路等の見学を行いました。



当日、小学生は「小田川頭首工」を見学し、水田の水をためて運ぶ役割のある「小田川ダム」の見学をしました。その後、小田川ダム周辺の水源の森において、「水をつくる森林」をテーマに支署職員による森林教室を行いました。

はじめに、「森林の役割」には、地球温暖化防止の働きをはじめ、土砂崩れの防止や、水をたくわえて綺麗にする働きがあることを学習しました。



次に、水源域の森林の働きを見てもらうために、「さらさらした土」、「植生のない土」、「草に覆われている土(森林を簡易に再現したもの)」を並べて、同時に水を流す実験を行いました。さらさらした土は、一気に水と共に流れ出て、植生のない土からは、茶色く濁った水が出てきました。一方で、森林を再現した土からは水を浸透した後、綺麗に透き通った水がゆっくりと流れていく様子が見られました。これには、小学生から驚きの声があがりました。



雨が降ってきて～土砂崩れが起きました・・・

この水が森林に流れると、下からどんな水が出てくるかな？

そのほかにも、森林の水を浄化する働きを再現した濾過装置の実験も行いました。濾過装置に泥水を流すと、下から綺麗な水が出てきて、小学生からは再び驚きの声が上がりました。

参加した小学生は、今回の現地学習で、「水の旅」に関わる先人の工夫や努力、そして農業（稲作）に関わる水系についての理解を深められたのではないかと思います。短時間の森林教室ではありましたが、この学習を通して身近にある森林や木材等についての興味を持っていただければと思います。



最後に、支署職員手作りのどんぐりマスコットとヒバの実ストラップ、どんぐり図鑑をお土産にプレゼントしました。どんぐりの一つ一つ違う表情に歓声があがっていました。



五所川原市立金木小学校(令和元年6月18日)

五所川原市立いづみ小学校(令和元年6月21日)



津軽森林管理署金木支署 担当：木村
☎0173-53-3115 FAX0173-53-3197

